

名総審第 2号
平成27年11月30日

名張市長 亀井 利克 様

名張市総合計画審議会
会長 辻 陽



名張市総合計画『新・理想郷プラン』基本構想（素案）について〔最終答申〕

平成27年3月28日付名企第1074号で諮問のありました、名張市総合計画『新・理想郷プラン』基本構想（素案）について、慎重に審議を重ね、別添のとおり取りまとめましたので最終答申します。

なお、総合計画の実施にあたっては、本審議会の審議過程で出された意見を尊重するとともに、特に次の事項に配慮されるよう要請いたします。

1. 恵まれた自然と豊かな文化をいつまでも大切にして、次の世代に引き継いでいただきたい。また、近年、社会環境の変化に伴い劣化が見られる自然の復元方法や、担い手が不足してきた農業のこれからのあり方についてもご検討いただきたい。
2. 妊娠・出産・子育てから高齢者福祉に至るまで、切れ目のない福祉政策の展開に努められたい。また、子どもたちが楽しく識り、学ぶことができるよう、教育内容の充実を図られたい。
3. 農・工・商・観光業など地域産業の創出・発展や雇用の場の確保に努め、若者が定住できるための礎を築いていただきたい。そして、老いも若きもこぞって生き活きと働き、暮らし続けられるよう、環境の整備に努めていただきたい。
4. すべての名張市民が安全で健やかに過ごせるための安心できるまちづくりを目指していただきたい。さらには、防災教育や食育にも力を入れていただき、市民に寄り添う行政であっていただきたい。

5. 厳しい財政状況を再認識し、無駄の削減を徹底し、安定した行財政運営に移行できるよう、ご尽力いただきたい。
6. 市民ひとりひとりが主体的に行動し、互いに協力し合うことで、それぞれの地域や名張市を盛り立てていくことができるよう、市民、地域、行政相互の連携を深め、協働のまちづくりの基盤形成を進めていただきたい。
7. この総合計画基本構想について市民の方々に広く知らせ、子どもたちには簡易版を配布するなどして、名張市の今とこれからの方向性について広く伝達されたい。

以上